

土石流災害に関する緊急要望

本年7月1日からの大雨により、静岡県熱海市において大規模な土石流災害が発生し、甚大な被害が発生した。

現在、消防、警察、自衛隊等により行方不明となっている方々の懸命の捜索救助活動が行われており、被災された地域・住民の皆様には、心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

このたびの災害では、届出量を超える盛土の搬入が確認され、甚大な被害との関係が指摘されている。

全国の土砂災害危険箇所数は52万以上（うち土石流災害危険箇所数は18万以上）に上る状況にあるが、これに加え、中山間地域の多い町村においては、かねてより建設残土等の大量搬入や不法投棄等が確認される等、今回の災害を契機に防災上、重大な懸念が高まっている。

目下、政府及び各自治体では、緊急点検を行うなど応急的な対応がとられているところではあるが、今後の災害発生を未然に防止する観点から、以下の項目について対策を講じることを求める。

1. このたびの災害における盛土と土石流災害との因果関係の解明を早急に進めること。
2. 全国の盛土の安全点検結果を踏まえ、関係府省が連携・情報共有する仕組みを早急に構築し、盛土に係る土石流災害について、総合的な発生防止対策を講じること。
3. 盛土や土砂類の搬入について、災害防止の観点から、全国統一的な基準を含め法制度の整備など、規制の拡大・強化等の抜本的な対策を講じること。
4. 町村をはじめ自治体の土石流対策に係る技術的、人的及び財政的支援を強化すること。

令和3年7月27日

全国町村会長 荒木 泰臣